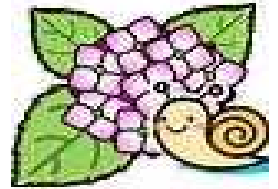


でんでんむし



10月になりました。



色づく木の葉に、地面に重なる落ち葉や木の実。季節はもうすっかり秋になりました。この時期、日中と朝夕の寒暖の差はかなりありますので、子どもの体調管理には気をつけてください。秋は、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋…本当に楽しみの多い季節です。この過ごしやすい季節をお子様と一緒に楽しんでくださいね。



～子育てワンポイントアドバイス～ 「一知っておきたい応急処置」



大人が、“やるはずがない”と思ったことをしてしまうのが子ども。場合によっては、それが命にかかわることだってあります。何事もなく、元気に過ごしていれば、当たり前。しかし、万が一事故が起きた場合…。覚えておいた対処法が役に立つでしょう。



- ①異物をのどにひっ付けたとき 指をつっこんで取れるものは取りましょう。だめなら、体を大人のひざの上うつぶせにさせ、背中をたたいて吐かせましょう。
- ②薬品類を飲んだとき 何をどのくらい飲んだかを確認めて、水または牛乳を飲ませましょう。石油製品など、油に溶けるものを飲んだ時は、牛乳を飲ませてはいけません。指先でのどの奥を刺激して吐かせましょう。酸性、アルカリ性の強いものを飲んだ時は、吐かせてはいけません。すみやかに病院へ連れていきましょう。
- ③やけどをしたとき まず、冷水で十分に冷やし(20～30分位)、お医者さんの診察を受けましょう。服が皮膚にくっついている時は、無理に脱がさないで水をかけてください。
- ④頭を打ったとき すぐに元気よく泣けば、ひとまず安心ですが、意識がなかったり、出血、けいれんのあるときは、急いで病院へ行くことをおすすめします。頭を打った後、数日間は、子どものように注意して、頭痛や吐き気があるときはすぐにお医者さんに診てもらいましょう。



◆ワンポイントアドバイス◆

事故がおきたら大声で、救急車を手配しましょう。自分だけで処理しようと思っていると手遅れになる場合もあります。

～ 子育て支援センター「でんでんむし」の9月のイベントから ～



10日(木) 子育て講演会 「食育のはなし ～離乳食・幼児食～」



佐賀女子短期大学の西原由紀先生(食育相談会の講師)からお話をいただきました。講話は”野菜の絵本”から始まり、次に、離乳食の目的・時期、メニュー、食材の選び方、調理のポイント、そして食生活スケジュール、大人の食事からの取り分け離乳食、最後には幼児食と、幅広くお話ししていただきました。



パソコンを使い映像を通してのお話でしたの分かりやすく、じっくりと聞くことができました。また利用者から事前にいただいた質問にも丁寧にお答えいただきました。参加者からも「ネットや本から情報を得ることはできるが、直接話を聞く機会は多くないので参考になった。」「一人で離乳食を作ることに色々悩んでいたのととてもいい機会になった。」など、とても好評でした。



今月のメニュー

- 8日(木)「ママカフェ」10:30～
- 8日(木)「食育相談会」14:30～
・講師:佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生
- 20日(火)「お誕生日おめでとう」10:30～※児童館と合同
- 22日(木)「子育て講演会」10:30～
・講師:佐賀女子短期大学 准教授 白濱洋子先生
※全ての講座、イベントで託児あります。



☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆ [Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょ・いっいな)